

概要

インターバル撮影画像をパソコンに連続的に表示したり、移動する物体の位置を取得したりするために開発しました。

主な機能

- 画像を拡大・縮小、コントラスト調節、色補正、回転して表示（たとえば、色補正により、ほとんど真っ暗な夜間の撮影画像でも被写体が判別可能）
- 動く物体を追跡するようにクリックしながら、連続して座標を取得
- 追跡する物体が平面上を移動する場合、いくつかの参照点の座標に基づいて座標変換式を決定できる（⇒かなり歪んだ画像からでも物理座標を正確に求めることができる）
- 物体には目印の記号をつけて区別でき、複数の物体を追跡可能
- 各画像ファイルの撮影時刻情報を読み取り、各画像の時刻を自動認識

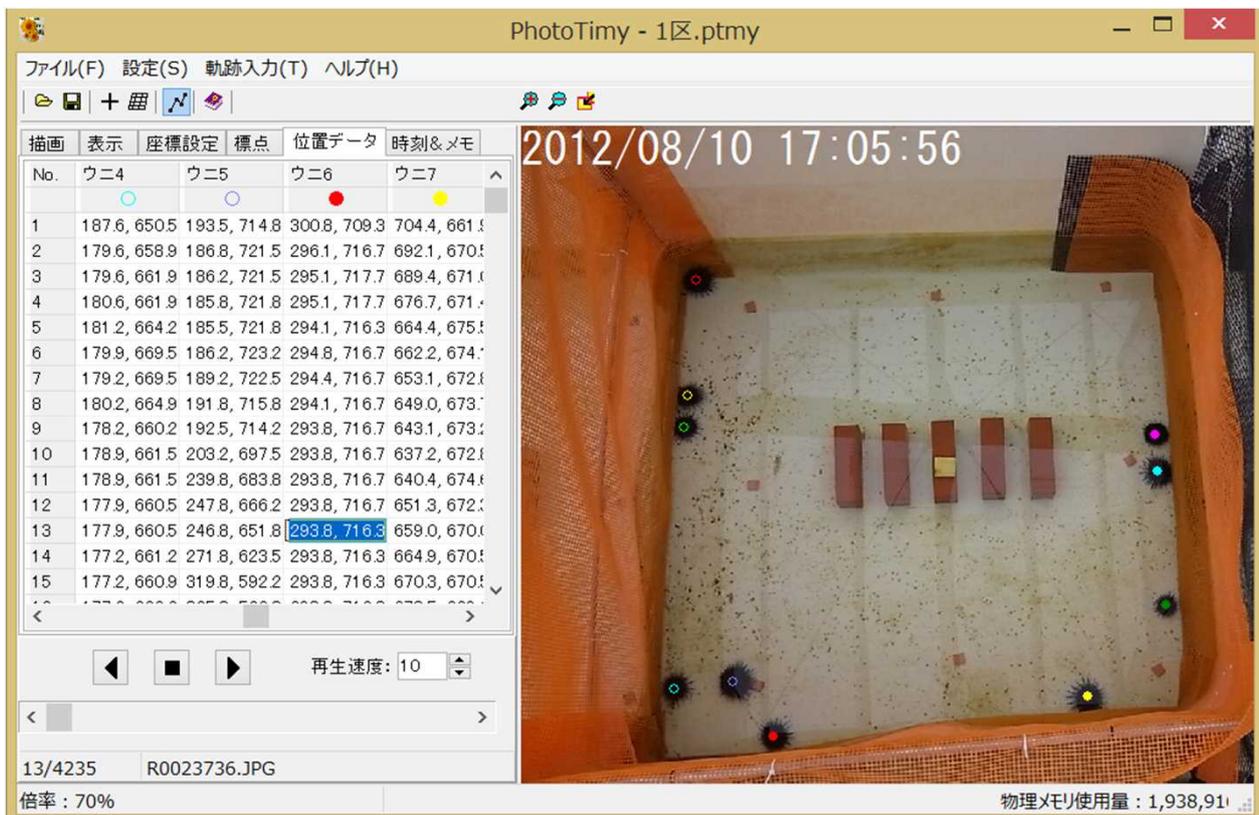


図1 水槽内で移動するウニの位置を取得した例

動作環境

Microsoft Windows Vista/7/8/10の日本語版が動作するパソコン

画像ファイルはjpgまたはbitmap形式

一連のインターバル撮影画像は同じフォルダー内に保存すること

データの保存と解析

- 各種設定情報をファイル(*.ptmy)に保存することができます。
- 軌跡データは、カンマ区切り形式(*.csv)または運動解析プログラムUrchTrac用のバイナリファイル(*.mtf)として保存することができます。